

専門職員認定制度の実施に向けて今後検討すべき点

1. 総論

- 正式名称の確定
- 英文名称の確定

2. 資格認定上プロセスにおける課題

a) 申請から資格付与までのプロセスの明確化

- 申請から認定に至るまでのタイムテーブルの作成
- 認定条件の確定
- 明示された審査基準の公開
 - 申請者の経歴および活動の評価
 - 論文の形式面、内容面の評価
- 各種研修事業の実態調査および評価

b) 認定後の更新制度

- 更新に必要なポイント数の設定
- 各種活動によって獲得されるポイントの一覧
- 各種学協会への協力関係の確立
- 資格失効に関する規定

c) 移行措置

- 移行措置の有無
- 移行措置の規定

d) 地方在住者の負担軽減措置

- 地方での各種研修の開催措置の検討
- 認定時の地方在住者の負担軽減措置

3. 上級司書審査会および関連団体の設立

- 組織上の位置付け
- 審査チームへの委嘱制度の確立
- 上級司書によって構成される団体(仮称「上級司書会」)の設立

4. 財政的措置

a) 財政需要の算定作業

- 上級司書審査会の事務作業量
- 一年度あたりの審査チームの編成数
- 申請者一名あたりに要する審査チームの費用の算出
- 地方在住者の負担軽減に要する費用

b) 財政収入の算定作業

- 一年度あたりの申請者および認定者数の算定
- 更新者数の算定
- 申請料および更新料の設定

5. 総合的検討

- 専門性を評価する総合的枠組みの構築
 - 館種別
 - 業務別
- 図書館員としての総合的なキャリア・ディヴェロップメントの策定
- 司書養成制度との関係の検討
- 現行研修制度との関係の検討